

南相馬市博物館 特別展

アンモナイト・ワールド 相馬地方のアンモナイトとその仲間たち

4月18日(土)～6月21日(日)

アンモナイトは古生代デボン紀～中生代白亜紀の、約3億5000万年にもわたる間、世界に広く栄えた、恐竜とともにポピュラーな古生物です。

南相馬市を中心に分布するジュラ紀後期～白亜紀前期の「相馬中村層群」からは、アンモナイトが多産することで有名で、近年、同地層群から発見されたアンモナイト3種は、国内では約30年ぶりとなる新種に認められたほか、昨年9月には直径約35cmという、国内のジュラ紀最大級のアンモナイトが発見されるなど、大きな話題となりました。

今回の特別展では、世界各地のアンモナイト化石や、相馬中村層群から産出したアンモナイト化石と、同時代を生きた海の生物の化石から、相馬地方のアンモナイト時代を紹介します。

観覧料 一般 300円 (250円)

高校生 200円 (150円)

小中学生 100円 (80円)

※ () 内は団体料金 市内に居住・通学する小中高生は無料です。

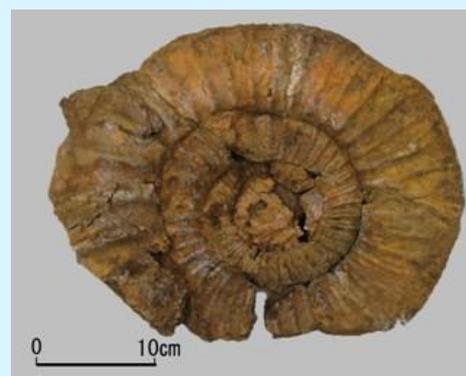
体験学習 「アンモナイトを探してみよう！」

平成21年5月30日(土) 13:30～ 定員20名

講師：八巻安夫氏(相馬中村層群研究会 会長)

南相馬市内でアンモナイト化石を採集してみましょ。

※問合せは南相馬市博物館まで。定員になり次第締め切ります。



アウラコスフィンクトイデス(アンモナイト)

原町区石神 中ノ沢層 八巻安夫標本
ジュラ紀のアンモナイトでは、国内最大級です。

ダルマシセラス・ムネオイ
(アンモナイト)

鹿島区小山田 小山田層 平宗雄標本
近年新種に認められたアンモナイト。種名に
発見者・平宗雄さんの名前が付きましました。



19万人目となった青沼さん(中央)と、前後賞の山田さん(左)と青沼正之さん

入館者数 19万人 達成

当館は、「来て、見て、楽しく学べる博物館」「何度でも足を運びたくなる博物館」を、利用者の皆さんとともに作り上げたいという思いから、ふるさと学習の機運を盛り上げるとともに、利用状況をお知らせするひとつの方法として、1万人ごとに記念入館者を認定していますが、平成21年1月31日、おかげさまで入館者数19万人を達成しました。

19万人目になられた方は、宮城県大崎市の青沼竹子さん、前後賞は青沼正之さん、宮城県登米市の山田照忠さんでした。青沼さんと前後賞のお二人には、19万人目の記念品が贈呈されました。

あと1万人で、大きな区切りとなる20万人を迎えます。これからも皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。

考古学プチサロン

(年8回シリーズ+縄文土器作り)

発掘調査をしている教育委員会文化財課と出土品を展示している博物館職員が、南相馬市の考古学者を目指す皆さんに、考古学への疑問などをサロン形式でわかりやすく解説しながらお話しします。

対象 小学校高学年から一般のかたまで 定員 40名以内

- | | |
|----------|--|
| 6月6日(土) | 古墳の宝物を見る ~南相馬の古墳から~ |
| 8月8日(土) | 縄文アクセサリー ~ブランドのはじまり~ |
| 9月5日(土) | 「考古学への招待」①~昔のことがどうしてわかるの?~ |
| 9月・10月 | 縄文土器づくり(初級編) 野焼き体験 縄文土器を作り、浦尻貝塚で野焼きします |
| 11月7日(土) | 邪馬台国時代の日本列島 ~お墓を中心に~ |
| 12月5日(土) | ヤマト王権と桜井古墳のなぞを解く |
| 1月30日(土) | 縄文人と弥生人 |
| 2月13日(土) | 自然への祈り~縄文人と動物~ |
| 3月6日(土) | 「考古学への招待」②~考古学からみた南相馬~ |

考古学のナゾを解こう!



常設展示室 ミニテーマコーナー

縄文 ♥♥ ドッキ土器!!

4月1日(水)~6月28日(日)



どんな模様に見えるかな? なに見える?
これは? ウルトラマン? O(o|o)oシヅツチ!!
それともムクの「叫び」?)°°(

南相馬市内からは、いろいろな模様の縄文土器が出ています。

それは今から2000年から1万年も前にできた模様なんだよ。君には何に見えるかな?

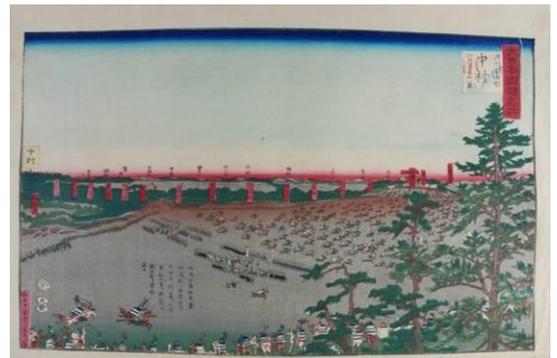
南相馬の遺跡から出た土器の模様を見てみよう!



野馬追資料特別陳列

会場 特別展示室 7月4日(土)~7月26日(日)

相馬野馬追の時期にあわせ、野馬追の歴史をしめす^{えまきもの}絵巻物・^{はんが}版画などの絵画資料や、野馬追には欠かせない武器武具類など、普段公開されていない博物館収蔵資料をはじめ、野馬追関連の諸資料を紹介いたします。



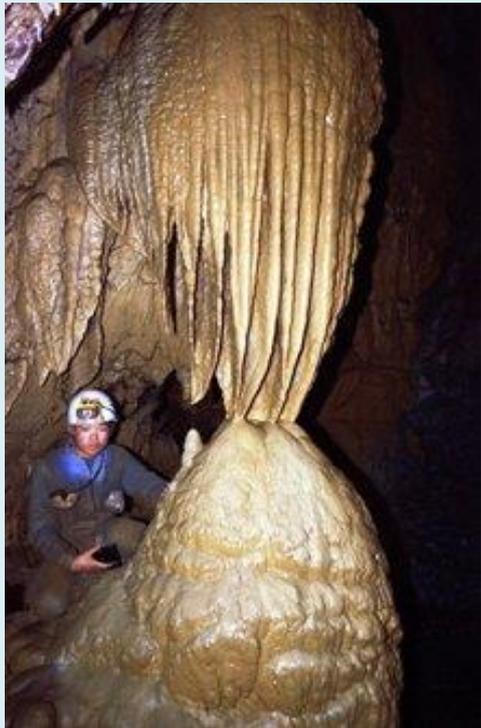
「大日本国郡名所 奥州宇田郡中村」
明治元年(1868) 橋本玉蘭斎貞秀画 個人蔵

ラビリンス
地底の迷宮

おおあなしゅうにゅうどう

大穴鍾乳洞

4月26日(日)～8月30日(日)



大穴鍾乳洞大石柱

鹿島区 大穴鍾乳洞内 写真提供：平宗雄氏

相馬地方には古生代からの地層が見られ、古生物の化石の宝庫であるだけでなく、石灰岩が生み出した南相馬市鹿島区の大穴鍾乳洞などの地形は地質学的にも貴重です。また、鍾乳洞内にはコウモリだけでなく、目のない昆虫など貴重な固有種が生息していることがわかっています。こうしたことから、相馬地方はすばらしいエコミュージアムともいわれています。

相馬地方の鍾乳洞を歴史的にみると、古くは縄文時代の土器や石器が出土し、中世から江戸時代には神聖な場所と意識され、雨乞いの場として信仰されました。

しかし、大穴鍾乳洞は保全のために、現在は一般の立ち入りを制限しています。今回の展示では、大穴鍾乳洞の様々な魅力を地質的な面だけでなく、歴史・民俗といった人との関わりの面からも紹介します。

展示解説会「大穴鍾乳洞の魅力」

4月26日(日) 10:00～

高橋紀信氏(相馬中村層群研究会顧問)

※別途入館料が必要です

僕たち私たちの宝物を開催しました

昨年度の第2回企画展「僕たち私たちの宝物—鹿島区少年少女化石探検隊のあゆみ」(平成20年12月16日～平成21年3月31日)は、好評のうちに終了しました。この展示では、鹿島区地域教育課が行った「鹿島区少年少女化石探検隊」の活動のあゆみと、隊員の子供達が採集した化石を紹介しました。自慢の化石を持ち寄った子供達は、自分が見つけた化石が展示されると、発見した時とはまた違う喜びと感動がこみ上げてきているようでした。



展示解説会(平成20年12月16日)

展示解説会には、化石探検隊の子供たちとご家族が見学に集まりました。「私が見つけた化石はどれかな～」

鹿島歴史民俗資料館

開館時間 9:00～16:45 休館日 毎週月曜日 ※月曜日が祝・休日などの場合は開館、その翌平日が休館日

入館料 大人:110円 中学生以下:無料 ※団体20名以上半額 障がい者の方は無料南相馬市内に居住・通学の高校生は無料

問い合わせ 鹿島区西町三丁目1 電話・FAX:0244-46-4281

南相馬市博物館の催し物

4月～7月

※申し込みはお早めに。定員になり次第締め切ります。
問合せは 南相馬市博物館 0244-23-6421

期 日	タイトル	詳 細
4月18日(土)	博物館講座 「古代の様相一人とモノの移動」	13:30～15:30 定員50名 講師 佐藤祐子学芸員 古代陸奥国支配に伴う城柵の造営や人とモノの移動から、当時の様相を概観します。
4月19日(日)	体験学習 「自然観察会 —森の生き物を探してみよう!!」	9:00～12:00 定員20名(小学校3年生以下は保護者同伴) 講師 黒沢高秀氏(福島大学) 杉内慶夫氏(日本野鳥の会南相馬支部) 大槻晃太氏(福島二ホンザルの会) 岩崎雄輔氏(福島県野生動物研究会) 五台山や太田川上流の森で、春の花・鳥・カエル・哺乳類を探し、観察します。 【持ち物】 帽子、水とう、長靴(以下はあれば便利) ルーペ、双眼鏡、図鑑
4月25日(土)	体験学習 「機織りとむしろ織り」	13:30～15:00 定員10名 講師 境 司氏、鈴木ミドリ氏 昔の機織機を使って織物の歴史と技術を学び、簡単な卓上織機でコースターを作ります。
5月10日(日)	民話の世界 —横山幸子さんをお招きして—	10:30～12:00 語り部 横山幸子氏(梁川ざっと昔の会 代表) 会場: 南相馬市博物館 シアター 福島県の代表的な語り部の一人、横山幸子さん から、県内の民話・民話の会結成のいきさつ・民話と生涯学習について伺います、
5月16日(土)	博物館講座 「相双の伝説と昔話」	13:30～15:30 定員50名 講師 大迫富子氏(磐城民俗研究会) 『鹿島町史』『原町市史』『おだかの歴史』等、相双地方の市町村史編さんのため、多くの 民話を採訪されている大迫富子氏から、民話のパターンや地域性などを伺います。
5月24日(日)	市内史跡めぐり 「鹿島区上真野地区を中心に」	9:00～12:00 定員22名 講師 当館学芸員 鹿島区柵塚・小池地区などを訪れ、名馬太夫黒伝説ゆかりの地や馬頭観音堂などの神社・仏閣を巡ります。
5月30日(土)	体験学習 「アンモナイトを探してみよう!」	13:30～15:30 定員20名 講師 八巻安夫氏(相馬中村層群研究会 会長) 南相馬市内でアンモナイト化石を採集します。【持ち物】 軍手・新聞紙・ビニール袋
6月20日(土)	博物館講座 「相馬の馬—歴史資料からみる馬」	13:30～15:30 定員50名 講師 水久保克英主査 古文書・古記録類にみる相馬の馬について紹介します。
6月27日(土)	体験学習 「自然観察会 —モリアオガエルと虫たちに 会いに行こう!!」	9:30～12:00 定員20名(小学校3年生以下は保護者同伴) 講師 伊原禎男氏(奥羽大学) 三田村敏正氏・斉藤修司氏(福島昆虫ファウナ調査グループ) 市内の水辺で産卵するモリアオガエルと、産卵地の周りの昆虫を観察します。 【持ち物】 帽子、水とう、長靴(以下は持っている人) 図鑑、アミ、虫かご
7月4日(土)	体験学習 「七夕」	10:00～12:00 定員20名 講師 当館学芸員 七夕に行われていた、盆に先立つ行事や水に関係する行事を紹介します。また、短冊に願 い事を書いて竹に下げる行事を再現し、博物館の入り口に飾ります。
7月11日(土)	体験学習 「馬装のしかた」	10:00～12:00 定員20名 講師 二上裕嗣氏(相馬野馬追保存専門委員会 委員長) 野馬追で使われる馬具の着装の仕方や、馬具の歴史を学びます。
7月18日(土)	博物館講座 「相馬の馬—野馬追を中心に」	13:30～15:30 定員50名 講師 二上文彦学芸員 原町区を中心に広がっていた「野馬原」を中心に、野馬追をめぐる相馬の馬について紹介します。

4月5日(日)・5月3日(日) 古文書解読講座 13:30～15:30 定員20名 【持ち物】 原稿用紙・筆記用具
6月7日(日)・7月5日(日) 相馬の歴史について書かれた江戸時代の記録書「東奥中村記」をテキストとします。

考古学フキサロン
6月6日(土) 13:30～15:00
「古墳の宝物(ほうもつ)を見る—南相馬の古墳から」
定員40名 講師 文化財課職員
南相馬市内の古墳から出土した遺物から、当時の人々の暮らしや
様子をわかりやすく紹介します。(本紙2頁に詳細)



上渋佐7号墳出土銅鏡



「民話の世界」に出演する横山幸子さん

各館のご利用案内	
<p>南相馬市博物館</p> <p>問合せ 〒975-0051 原町区牛来字出口194 電話: 0244-23-6421 FAX: 0244-24-6933 E-Mail: hakubutsukan@city.minamisoma.lg.jp</p> <p>開館時間 9:00～16:45(最終入館は16:00まで)</p> <p>休館日 毎週月曜日および年末年始 ※月曜日が祝・休日などの場合は開館、その翌平日が休館日となります</p> <p>観覧料 一般300円(250円) 高校生200円(150円) 小中学生100円(80円) ()は20名以上の団体料金です。 ※企画展開催中は観覧料が異なることがあります。市内に居住・通学する小中高生は無料です。障がい者の方は無料です。(手帳をご提示ください)</p>	<p>鹿島歴史民俗資料館</p> <p>問合せ 〒979-2334 鹿島区西町三丁目1 電話・FAX: 0244-46-4281 E-Mail: k-shiryokan@city.minamisoma.lg.jp</p> <p>開館時間 9:00～16:45</p> <p>休館日 毎週月曜日および年末年始(12月29日～1月3日) ※月曜日が祝・休日などの場合は開館、その翌平日が休館日となります</p> <p>観覧料 一般110円(団体は20名以上半額) 中学生以下無料 ※市内に居住・通学の高校生は無料です。障がい者の方は無料です。(手帳をご提示ください)</p>